

いまいは今  
vol.164

発行 今井町町並み保存会  
発行日 平成26年2月1日  
電話 0744-22-1128  
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/  
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は  
今井まちづくりセンターまで

## 「町歩き勉強会」重要文化財上田家

1月19日(日)「町歩き勉強会」を重要文化財上田家で開催し、まずは家長である上田昌良氏と奥様に説明していただきました。

上田家は片岡城8千石(現在のの上牧町片岡台辺り)の城主の片岡新助春利が先祖で、元龜元年に信貴山城の松永弾正と戦争し、負けて落城して今井に移ってきて、のちに商人化しました。

その後、今西家・尾崎家とともに三軒が惣年寄として、町の治安、風紀を取り締まり、訴訟など多様な任務を行い、町政に寄与していました。

建物については今から270年弱前にできたと言われています。それからもろもろの修理はしたものの天保9年に巡見使がこの上田家に宿泊するという時に大修理をされたという事になっていきます。

明治大正昭和と修理してきましたが、昭和

51年から52年にかけて屋根の瓦を葺き替える半解体の工事をして現在に至っています。聞き取りの中で、当家は屋号が壺屋と言われ、江戸時代に酒造りしており、井戸水が大変きれいであったが水洗の工事等で水脈が変わったという話でした。

また今井の本店は入口が南北にあります。当家が西にある理由はわからなかったのですが、おばあさんによると、家族の中では家横の東西の通りを「横町」と呼んでいたそう。

また惣年寄の任務である治安に関わる遺物、火事の際に着用する腹掛けやヘルメット。半鐘。罪人を拘束するための手錠やなぎなたが大切に保存されています。



床の間について伺ったところ、当初はなく、巡見使が宿泊された際に作られたという話であった。

また家の北東の蔵にはかつて茶室があったという貴重な証言が得られました。

## 全国町並み保存連盟40周年①

今年「今井町町並み保存会」の加入団体である「全国町並み保存連盟」が40周年記念の年を迎えます。

今井町に「今井町を守る会」が197

1(昭和46)年に発足、その3年後の1974(昭和49)年4月17日に「今井町を守る会」「有松まちづくりの会」「妻籠を愛する会」が今井町に集まり、「町並みはみんなのもの」を合言葉に活動を始めたのが連盟の起源となっています。

40年の長い歴史の中で町並み保存にかかわる人たちがすらすらそのルーツを知らない人が増えてきています。奈良県内でも旧い町並みの価値を見出し、その保存活動の必要性を国に訴え、連盟を立ち上げたのが、我々の町の先人であったことを知らない人は多いと思います。

いま、連盟ではその歴史を見つめ直し、資料を集めて記念事業として「40年史」の発行の準備に取り掛かり始め、改めて歴史の見直し作業が始まっています。

当然ながら「今井町町並み保存会」は連盟の発祥の地としての認識を新たに起こし、全国に「今井町」は元気に活動を継続していますよとアピールでき、来町者、はもとよりメディアをはじめ、あらゆる層の方たちに町並み保存、町おこしの原点の町「今井町」を周知していただける年にしたいと思えます。

それには1年間を通してイベントごとに「全国町並み保存連盟40周年記念」「今井町は全国町並み保存連盟発祥の地」を提唱していきたいと思えます。

皆様ご支援をお願いいたします。

## いまいの人々は

俳句三首

後藤艶子(4丁目)

蘇武の橋 榎の大樹 新樹光

柳ななの木に 触れてぬかすく 春の宮

歩を合せて くれる友あり 花野径

一月一日発行(第163号)で作品募集をしましたところ、早速に後藤艶子さんが俳句をお届けいただきました。本当にありがとうございました。

編集部一同の気持ちを込めて今号に掲載させて頂きました。

日頃目にしている町の風景を心にとどめ、素直にお伝えいただき、ほのぼのとしたものを感じました。私たちも豊かな感受性をもって暮らししてみたいと思います。身近なさりげない出来事などをどんどんご投稿下さい。

作品に住所、氏名をご記入の上「今井まちづくりセンター」内編集部係までお届け下さい。皆様のご協力を心よりお待ちしております。

## いまいフォトメモリアル①

「いまいは今」編集部ではさまざまな行事やイベントの取材をさせていただいたときに、多くの写真を撮影しています。ところが、紙面が限られている関係でこれらの写真が「お蔵入り」してしまうことがよくあります。

これらの写真を、当時の思い出とともに「いまいフォトメモリアル」として、今号より不定期に掲載していきたいと思っています。

記念すべき第1回は新年にちなんでこの写真。鯛……!



「ナゼに鯛?」と思われるかもしれませんが、実はこれNHK朝の連ドラ「こちそうさん」で使われた天然物の鯛なのです。7月24日今井町で行われたロケには町の人たちが多数エキストラで出演していました。この時の様子は第159号で紹介しています。撮影に用いられた食べ物すべて本物でした。

「さすがNHK、お金かけてるなあ!」と思ったのですが、撮影当日は気温が30度に達しようかという非常に暑い日、いくら霧吹きで水をかけても鯛は乾燥していき、撮影が終わる頃には目も当てられない状態となっていました。

結局、鯛は「スタッフ一同においしく召し上がられる」ことはなかったようです。「本物にはお金がかかるんだなあ…」と改めて感じた一日でした。

## いまい往来

2月1日(土) 今井町町並み保存会

県外研修

於 和歌山県九度山町

2月2日(日) やつむね能楽講座

山田能楽ワークショップ

於 今西家住宅

2月3日(月) 節分屋祭り

於 蓮妙寺

3月2日(日) 防災フェスティバル

於 今井町内

## 編集後記

先日お越しになった方に少し町のご案内をしました。その感想にビックリ……! こんなに大きな町全体に歴史を感じさせて、そして残されている。私たちの所ではある一部分だけです。違いますね。と感激しておられたのです。

普通に思っている事が、少し視点を変えれば目からウロコ。「暮らす皆が我が町の良さ再発見と思える一年になりますように」と思わず感じました。